



第1824回 例会

2011-12年度RI会長:カルヤン・パネルジー
 第2640地区ガバナー:大澤 徳平
 創立:昭和49年5月15日
 会長:上原俊宏
 幹事:佐田一三
 会報:榎本真弓



VOL. 38 No. 28

2012年 2月15日 (水)

事務所:田辺市下屋敷町81-10
 きくの信用金庫田辺支店3F
 Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008
 E-mail t-eastro@mb.aikis.or.jp
 例会:毎週水曜日 12:30~

司会者 上原 俊宏会長

唱歌

"われら日本のロータリアンの歌"
 谷中順次郎君



ゲスト "紀州梅の郷救助隊 隊長 尾崎 剛通 様

出席報告

会員数	義務免除	欠席者数	本日出席率
48名	4名	12名	72.09%
2月1日 修正出席率 80%			
1月の平均出席率 86.75%			

ニコニコ箱

(敬称略)

- ◇尾崎剛通様をお迎えして。
 後藤、平野、片井、木村、楠本、丸山 (博)
 森本、小倉、岡本、佐田、坂本、竹村、谷峯
 上原、山本、吉田、吉本
- ◇隊長殿をお迎えして。 坂本
- ◇メッチャ仕事がえらい。忙しく死にそうだ。
 でも、チョコ3つ貰った。 中嶋
- ◇先週、玉置さんの名前を間違えて発表しました。
 すみませんでした。 谷本
- ◇早退おわびいたします。 北村、武田、中川
- ◇奥様誕生日 北村、玉置
- ◇結婚記念日 森本
- ◇お花頂きます。 谷中

紀2601年に陸軍に採用された戦闘機が一式戦闘機 (通称 隼はやぶさ) となっています。

会長報告

- ◎本日のお客様は紀州梅の郷救助隊 隊長 尾崎 (おさき) 剛通 (たけみち) 様です。後程宜しく願い致します。
- ◎日置川プロバスクラブより1月28日 (土) に開催された創立10周年記念大会への出席のお礼状が、直前会長 西谷 次彦君に届いています。回覧しています。
- ◎2月11日 (祝・土) に青少年交換オリエンテーションがりんくう国際物流センターで開催されました。田辺高校の西岡あかねさんと、当クラブの平野 好史君が参加してくれました。ご苦労様でした。
- ◎先週の定例理事会の報告を致します。
 - ・3月3日 (土) の米山奨学生修了証授与式参加について、地区委員の坂本正人君に決定しました。
 - ・隠岐会員の葬儀での受付などをお世話して頂いた会員について、今回に限りメイクアップとする。今後はその都度、理事会で決定する事とする。
 (浦地、谷峯、山本、坂本、西谷、佐田、中嶋、谷中、本田、吉本、岡本、泉)
 - ・2月25日 (土) 社会奉仕委員会の事業「奇絶峡周辺清掃」参加者をメイクアップとする。

会長報告の前に

日本書紀の神武天皇即位記に「辛酉年春正月庚辰朔 天皇橿原の宮に即帝位 是歳を天皇の元年 (はじめのとし) と為す。」とあります。
 通常、辛酉の年には変革があるとされています。(辛酉革命説) 従って日本書紀にある春正月つまり旧の正月が我が国の建国の日 (紀元節) であったのですが、明治時代になって太陽暦 (グレゴリー歴) になり、紀元節を西暦に固定する必要が出てきました。結果、紀元節は西暦紀元前660年に相当し、即位月は春正月であることから立春の前後の「庚辰」という干支の日、つまり2月11日が紀元節、後の建国記念の日となりました。つまり、今年は皇紀でいいますと、2672年となります。

ちなみに、かつての軍用機の命名規則によりますと、皇紀の下二桁を冠するとなっています。皇紀2600年に制作されたのが零式艦上戦闘機 (通称 ゼロ戦)、皇

幹事報告

- 例会日時変更
- ◎那智勝浦RC
 2月16日 (木) → 2月19日 (日) 8:00~
 場所: 南の国の雪まつり会場 (ポリオ募金活動のため)
- ◎有田南RC 2月21日 (火) → 休会
- ◎海南RC 2月29日 (水) → 休会

■メイクアップ

- ◎2月2日(木)・3日(金) 隠岐会員の葬儀での受付等、お世話をいただいた会員
浦地君、谷峯君、山本君、坂本君、西谷君、泉君、佐田君、中嶋君、谷中君、本田君、吉本君、岡本君
- ◎2月11日(土・祝日)
青少年交換オリエンテーションに参加 平野 好史君

■回覧

- ◎週報「田辺はまゆうRC」「新宮RC」「橋本RC」
◎「JCニュース1月号」「ハイライトよねやま143号」
◎「平和の文化と子ども展 子どもの幸福のために」
◎ガバナー事務所より「ガバナー月信2月号」
「地区大会記念ゴルフ大会開催のご案内」(4月2日)
「地区大会の案内」(4月7日・8日)と参加申込表
多数の参加申し込みをお願いします。
◎2012-2013年度版 ロータリー手帳の申し込み表
2月22日例会を締切とします。
◎社会奉仕委員会より「奇絶峡周辺の清掃活動と懇親会のご案内」<2月25日(土)>

委員会報告

■社会奉仕委員会

森本 修至 君

1. 2月25日(土) 15:00より
奇絶峡周辺の清掃活動を行います。
その後、懇親会を開催します。
2. 2月29日(水) 14:00より
献血を行います。場所は、資源開発様前です。



■新世代委員会

平野 好史 君

2月11日(祝・土)に青少年交換オリエンテーションに、田辺高校の西岡あかねさんと、西岡さんのお母さんと参加して来ました。
西岡あかねさんの留学先は、スウェーデンにほぼ確定しました。



■プログラム委員会

吉本 正美 君

2月22日(水)の例会の卓話は
聖福寺 住職 関守研悟 様が
歌と講演をしてくださいます。



本日のプログラム

～幾多の災害地を見て～

紀州梅の郷救助隊
隊長 尾崎剛通様



■紀州梅の郷救助隊

大震災時(震度6強以上)での人命救助を目的とする民間の団体である

【隊員資格】特になし 老若男女問わず志のある人

【出 動】自主、自由、自己責任

【資 金】入隊金2万円、年会費3千円(本隊)
〃 1千円、〃 1千円(梅ママ隊)
寄付金 その他

モットー

平成の奇兵隊(来る者拒まず去る者追わず)

誰もやらないからやるのでなく誰もやらなくともやる

現在 隊員75名 梅ママ隊60名

■救助隊設立について

平成7年1月17日阪神淡路大震災の時、消防団員でもある自分が何もしなかったと云う自責の念と、公的機関にだけ任せておけないと云う思いから

【立ち上げ】少林寺拳法を修行している身であり、
開祖の言葉 「自分が正しいと思えばまず行動せよ
理屈は後から貨車で来る」

金剛禅運動の慈悲心と正義感、勇気と行動力の考えから少林寺の同志を中心として輪を広げる

地元の「紳士服のいのうえ」井上昭四郎氏より隊全員の制服の提供を頂く

平成7年12月旗揚げ

■活動について

平成9年 日本海ロシアタンカー ナホトカ号 重油流出事故を初めに、現在まで、大地震4回、水害4回の出動をする

又、県防災訓練参加

平成19年から阪神淡路大震災 神戸の1. 17の集いに炊き出しで参加

その他、年末3日間 町内の徹夜警戒を実施、行方不明者の搜索活動 等

■出動 他経験から学ぶ

地元行政、被災地行政の災害対応を見て

被災者からの生の声を聞いて

(百聞は一見に如かず、百見は一行に如かず)

活動経験を南海地震等に生かすことが我々の使命である

■防災の心得

まずは自分の命は自分で守る

まさか、想定外、と云うのが災害である

- ・日頃の近所づきあいが大事
- ・水、トイレ、食料、リーダー
- ・ボランティアの受け入れ体制づくり